

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】令和3年9月16日(2021.9.16)

【公開番号】特開2021-62279(P2021-62279A)

【公開日】令和3年4月22日(2021.4.22)

【年通号数】公開・登録公報2021-019

【出願番号】特願2021-9365(P2021-9365)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 0

A 6 3 F 7/02 3 0 4 D

【手続補正書】

【提出日】令和3年8月4日(2021.8.4)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

遊技に関する所定の演出を実行する演出制御手段を備えた遊技機において、

前記演出制御手段は、

表示手段の所定位置で行われる主演出と、

前記主演出よりも前記表示手段の外縁方向の少なくとも一部の所定領域を使用して前記主演出を強調する強調演出と、を実行可能であり、

前記主演出は、

演出の主体を第1形態又は前記第1形態と異なる第2形態で実行可能な第1の主演出と、

前記第1の主演出の終了後であって、前記第1の主演出とは異なる表示態様である第3形態又は前記第3形態と異なる第4形態で実行可能な第2の主演出と、を含み、

前記強調演出は、

前記第1の主演出に基づいて行われる第1の強調演出と、

前記第2の主演出に基づいて行われる第2の強調演出と、を含み、

前記第1の強調演出は、

前記第1の主演出が前記第1形態で実行される場合には、複数種類の強調演出のうち第1演出を実行可能であり、

前記第1の主演出が前記第2形態で実行される場合には、複数種類の強調演出のうち第2演出を実行可能であり、

前記第2の強調演出は、

前記第2の主演出が前記第3形態で実行される場合には、第3演出を実行し、

前記第2の主演出が前記第4形態で実行される場合には、第4演出を実行し、

前記第1演出が実行される場合より、前記第2演出が実行される場合の方が、前記第4形態で実行される前記第4演出が実行され易く、

図柄の変動表示が特別表示結果になる場合、第1の組み合わせ態様で表示される場合より、前記第1の組み合わせ態様とは異なる第2の組み合わせ態様で表示される場合の方が、前記第4形態で実行される前記第4演出が実行され易い、

ことを特徴とする遊技機。

【手続補正2】**【補正対象書類名】明細書****【補正対象項目名】0007****【補正方法】変更****【補正の内容】****【0007】**

本発明は以下の構成を有するものである。尚、参照符号は、本発明の理解促進の為に図面に図示した構成要素との対応関係の一例を示したものであり、本発明の技術的範囲を限定するものではない。

本発明の遊技機(1)は、遊技に関する所定の演出を実行する演出制御手段(演出制御基板130)を備え、前記演出制御手段は、表示手段(第1画像表示装置70)の所定位置(例えば、中央領域を含む表示領域)で行われる主演出(例えば、図52に示す図柄表示、キャラクタ表示、文字表示等による演出)と、前記主演出よりも前記表示手段の外縁方向の少なくとも一部の所定領域を使用して前記主演出を強調する強調演出(例えば、図52に示すエフェクト画像、フラッシュ画像等による演出)と、を実行可能であり、前記主演出は、演出の主体を第1形態(例えば、図53に示す擬似連演出)又は前記第1形態と異なる第2形態(例えば、図56に示すリーチ中のバトル演出)で実行可能な第1の主演出と、前記第1の主演出の終了後であって、前記第1の主演出とは異なる表示態様である第3形態(例えば、図64に示す大当たり演出での「SUPER BONUS」の文字画像)又は前記第3形態と異なる第4形態(例えば、図64に示す大当たり演出での「BONUS」の文字画像)で実行可能な第2の主演出と、を含み、前記強調演出は、前記第1の主演出に基づいて行われる第1の強調演出(例えば、図53に示すエフェクト画像、図56に示すエフェクト画像)と、前記第2の主演出に基づいて行われる第2の強調演出(例えば、図64に示すフラッシュ画像)と、を含み、前記第1の強調演出は、前記第1の主演出が前記第1形態(擬似連演出)で実行される場合には、複数種類の強調演出(黄、緑、赤エフェクト画像)のうち第1演出(黄エフェクト画像)を実行可能であり、前記第1の主演出が前記第2形態(バトル演出)で実行される場合には、複数種類の強調演出(青、緑、赤、虹エフェクト画像)のうち第2演出(赤または虹エフェクト画像)を実行可能であり、前記第2の強調演出は、前記第2の主演出が前記第3形態(SUPER BONUSの文字画像)で実行される場合には、第3演出(後光フラッシュA画像)を実行し、前記第2の主演出が前記第4形態(BONUSの文字画像)で実行される場合には、第4演出(後光フラッシュC画像)を実行し、前記第1演出(擬似連演出での黄エフェクト画像)が実行される場合より、前記第2演出(バトル演出での赤エフェクト画像)が実行される場合の方が、前記第4形態(BONUSの文字画像)で実行される前記第3演出(後光フラッシュC画像)が実行され易く、図柄の変動表示が特別表示結果になる場合、第1の組み合わせ態様(例えば、奇数図柄揃い)で表示される場合より、前記第1の組み合わせ態様とは異なる第2の組み合わせ態様(例えば、偶数図柄揃い)で表示される場合の方が、前記第4形態(BONUSの文字画像)で実行される前記第4演出(後光フラッシュC画像)が実行され易いことを特徴とする。